

セ タガヤ ボ ン テ ィ ア ネ ツ ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2019.6 No.182

今月のトピック

特集●

10代の生きづらさをうけとめる
～「聴く」ことから始める2つの活動～

まちの市民力! ● 世田谷マルチメディア DAISY の会
キラリ世田谷人 ● 西塚 美津子さん



イラストレーション●小塚 秀忠

世田谷トラストまちづくり大学を受講。
以来「地域共生のいえ」の活動をしなが
ら、水彩画を楽しみ、イラスト・情報誌
の編集などを手掛けています。

●わたしの世田谷

旧小坂家住宅(区指定有形文化財)の管
理・解説員をしています。そこでは、区
の花さぎ草を育てています。7・8月
には開花しますので見に来てください。

●特集 10代の生きづらさをうけとめる ～「聴く」ことから始める2つの活動～

去る4月20日、北沢タウンホールで、せたがやチャイルドライン特別講演会を開催しました。「10代の生きづらさをうけとめる」をテーマに、NPO法人BONDプロジェクトの代表である橘ジュンさんを講師にお迎えし、若年女性を取り巻く厳しい現状とその支援についてお話いただきました。

子どもや10代の「声をうけとめる」という共通項をもつ、BONDプロジェクトの活動とチャイルドライン。講演会の様子をお届けします。



講師の橘ジュンさん
(NPO法人bond project ホームページより転載)

支援者と女の子をつなぐ存在

「せたがやチャイルドライン」は18才までの子どものための電話の活動をしています。「声を受けとめ、寄り添う」という共通項をもつ活動から学び、ともに考えようと、橘さんをお迎えして講演会を開催することになりました。

「10代20代の生きづらさを抱える女の子のための女性による支援」を行うNPO法人BONDプロジェクト。代表の橘ジュンさんは18歳のころからルポ執筆などの活動を始め、2006年には女の子たちの声を伝えるフリーマガジン「voice」を発行開始、渋谷や新宿などの繁華街にいる延べ3000人を超える女の子たちを取材し、その声を伝え続けてきました。

夜の渋谷や新宿には、夜遊びするわけでも用事があるわけでもなく、街に「居場所」を求めています。よっている女の子たちがいます。

学校にも家庭にも居場所がなく、その背景には深刻な問題が隠れているといえます。「今日寝る場所も、お風呂も食事もない。それでも家に帰りたくない。家にいるよりはマシ」。橘さんはそんな女の子たちの話に耳を傾け、時には一緒にごはんを食べたり、自分の家に連れていき話を聞いたりしてきましたが、それでもどうすることもできない子との出会いがありました。それは、妊娠している女の子たちでした。

話を聞いてフリーペーパーで現状を伝えるだけではどうしようもない。手探りで行政や支援機関へ連絡を取り行動する中で、ひとつの思いが芽生えたと橘さんはいいます。それは、「支援者と女の子をつなぐ＝接着剤」のような存在が必要だということ。こうして2009年に立ち上がったのが「NPO法人BONDプロジェクト」でした。名称の「BOND(ボンド)」には「接着剤」という意



味が込められています。「動く相談窓口」として街頭でのパトロールを行ったり、ライン、メールや電話、面談による相談やシェルターでの一時保護など、様々な手段で10代20代の生きづらさを抱える女の子たちの支援を行っています。

力を取り戻す日まで

「BONDプロジェクト」は、女の子たちが安全な環境で自立の準備をするために、「ボンドのイエ（家）」という一時保護のシェルターを運営しています。家にも帰れず公的支援を受けられない女の子たちが暮らしています。入居期間は長くて1年間です。

シェルターで暮らす彼女たちの背景には、家庭内暴力や性的虐待、妊娠中から続くパートナーからのDVなど、逃げ出すことが容易ではなかった困難な事情があります。しかし、そういった背景も

保護されてすぐにわかるわけではありません。椅子に座ることに許可を求めたり、暴力を受けたことは自分が悪いからだと言分の責任のように口にする子、虐待を恐れてお風呂に入ることを不安がる子もいました。暮らしとともにする中で、これまでの経験がにじみ出し、その子が置かれてきた厳しい環境が見えてくるといいます。日々の丁寧な目配りや、コミュニケーションの積み重ねの中で徐々にわかってくることです。

講演会では、過去にテレビ放映されたBONDプロジェクトのドキュメンタリーを視聴し、実の父親から虐待を受けて家を飛び出し、シェルターで暮らす女の子が紹介されました。

教師になる夢を持ち大学に通い続けながらも、インターネットを介した見ず知らずの男性との出会いや「JKビジネス」から離れきれないでいる彼女に、断ち切るよう橘さんが正面から話をする場面

がありました。周囲から不条理に見えたとしても、これまで彼女の心の隙間を埋めて支えてきたものの。それを手放すのは勇気がいるけれど、自分を真剣に思ってくれる人がいるから、過去の自分と決別することができる。変化するための伴走者が必要なのだと感じる場面でした。

ひとりではなかなか動き出すことができない時でも、誰かと一緒にいることの心地よさを感じたり「自分がここにいってもいいんだ」と安心感を得ることで歩き出すことができるようになります。BONDのスタッフは、彼女たちが生活の基盤を整え、気持ちをしなやかに保つて次のステップへ進んでいく手助けをしています。時には弁護士と連携したり、必要な場合は医療機関や警察へ同行したり、行政機関へつなぐこともします。

「ボンドのイエ」はずっといられる場所ではありません。「ここで、生きていくための力をつけて、

自分の行きたい場所ややりたいことにたどり着いてほしい。BONDで経験した『困ったらず相談する』とか、『誰かと一緒に考える』こと。そういうことが身につけば、どこに行っても大丈夫」と信じて、橘さんたちは活動を続けています。

「ふつうに生きたかった」

橘さんが出会ってきた女の子たちは「自分の状況や思いを言語化するのが苦手」だと話します。

『うざい』『きもい』『だるい』そんな漠然とした短い言葉で、彼女たちが抱えるしんどさを伝えてくるなかで、話を聞く側がいろいろなことを考えないと、ついていくことができない。その一言からどれだけの事柄をすくい出せるかは、受けとる側の「聴く力」が必要とされます。相手とじっくり向き合い、覚悟を決めて付き合うことが重要になります。

そして、心も体も傷ついた彼女たちの望みはシンプルです。「ふつうに生きたかった。ふつうにお父さんに、お母さんに愛されたかった」心がしめつけられるような悲しい叫びです。保護されたからといってすぐに回復するわけではなく、傷が癒えるには傷ついた時間の倍かかるといわれています。その回復に寄り添うのは大変な活動に思えますが、「若い彼女たちはこれからどんなふうにも変わっていく可能性を秘めている。だからあせらず見守れるのです」と橘さんは話します。これまで長い時間をかけて女の子たちとかわつてきた経験から、その言葉には確信が感じられました。

力を信じて受けとめる

「せたがやチャイルドライン」では年間約2000件の電話を受けています。その中には最近ニュースなどでも大きく取り上げ



講師の橘さん。当日は60名を超える参加者が集まった。

られた虐待の話や、子どもを取り巻く貧困に関わるような話も入ってくる場合があります。時には自傷行為をしている子から話を聴くこともあります。

電話での相談も受けているBONDプロジェクトにも、自傷に関わる電話がかかってくることもあるそうです。「聞いてるこちらがドキドキしてしまったり、不安になったり、何かかしなければいけないけど、何かできるんだろうか。そういう自問自答をしながら声を聴く。祈りながら声を聴かなきゃいけない状況もある。電話を切ったあと後悔や恐怖心みたいなもの

を感じることもあります。でも、声を届けてくれたということは、『SOSを出したい』『生きる力がある』ということ。そこは信じてあげてほしい。きつと明日も、彼女たちの声が聴けると思っ、今日できることを真摯にやっていければいいのではないかと思う」と橘さんは話します。

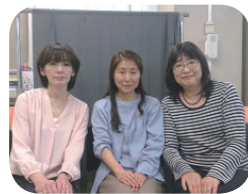
直接女の子たちと会ってかわるBONDプロジェクトと、電話を通して子どもとかかわるチャイルドライン。関わり方の違いはありますが、思いは同じなんだと感じた、勇気づけられるような橘さんの言葉でした。

子どもの気持ちを聴く

「チャイルドラインは子どもがいちばん最初に出会う、親や先生以外の大人かもしれない」という橘さんの言葉を受け、せたがやチャイルドライン運営委員長の田野浩美さんはこう続けました。

「大人にとって、『子どもの話を指示やお説教をしないで聴く』という事は頭で考えているよりも難しいものです。それでも、子どもの気持ちをまず『聴く』ことから始めなければ、子どもは大人や社会への警戒を解いてくれません。子どもの話をそのまま聴き、受け取ることができる大人がたくさんいれば、子どもたちも安心して自分で考えることができるようになると思います」

せたがやチャイルドラインでは電話の受け手養成のための公開講座を毎年開催していますが、これは「受け手」を目指す人だけでなく、子どもの問題に関心をもつ方や、子育て中の方たちにも広く参加していただける内容になっています。「子どもの話を聴く」ということを学ぶことができる機会となっています。ぜひいっしょに考えてみませんか。
(担当/せたがやチャイルドライン事務局)



写真中央が板橋さん

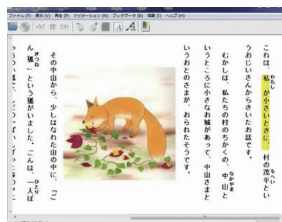
世田谷マルチメディア デージー DAISYの会

まちの

市民力!!

取材・事務局

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



視覚や聴覚に問題はないのに、
読み書きに困難を抱える人がいま
す。紙に書いてある文字がゆがん
で見えたり、文章を正確に速く読
むことが難しかったり、一字一句
を読めても文章の意味を理解する
ことに難しさを抱えています。

「デージー教科書」とは、タブ
レット端末などで見ることができ
る音声付きの教科書です。読みあ
げているところに色がついてどこ
を読んでいるかが確認でき、文字
の大きさや色、読むスピードなど、
使う人に合わせてカスタマイズす
ることが出来ます。読み書きに困
難のある子どもだけでなく、弱視
や学習障害等の発達障害、肢体不
自由などで、通常の紙の教科書を

使った学習が困難な子どもたちが
勉強するときにも活用されていま
す。

代表の板橋友紀子^{いたよしゆきこ}さんは、10年
前にニュースを見て「デージー教
科書」のことを知り、研修に参加
して活動を続けてきました。住ん
でいる地域でもこの活動を広げ
ようと、「世田谷マルチメディア
DAISY^{デージー}の会」を昨年立ち上げ
ました。「マルチメディアデージー
教科書」の製作や、周知活動をし
ています。

「平成24年度の文部科学省の調
査によると、通常学級で読み書き
に困難を抱える子どもは2.4%
となっています。しかし周知が遅
れていて、本来は必要としている

子たちに届いていないのが現状で
す」と板橋さんは話します。デイ
ジー教科書は読み書きに困難があ
る人が申請すれば無料で利用する
ことができ、日本障害者リハビリ
テーション協会によると昨年度は
全国で1万人以上が利用していま
すが、世田谷区内の小中学生の申
請は21名でした。読み書き以外は
普通に生活していることが多いの
で先生も親も気がつかず、見逃さ
れたまま放置されていることがあ
るといいます。

また、視覚障害児のための拡大
教科書や点字教科書は国が作成し
ていますが、デージー教科書の製
作はボランティア頼みとなってい
るのも課題です。「見えにくい人
には眼鏡を、聞こえにくい人には
補聴器を使うように、読み書きが
難しい人にはマルチメディアデイ
ジーを使う。そんな社会になれば
いいなと思います。1日も早く、必要
としている子にデイジーを届ける
ことができればと願っています」

■世田谷マルチメディア DAISYの会

【問合せ】ENJOY DAISY 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/> E-mail: daisy_c@dinf.ne.jp



みんなでいっしょに食べよう

西塚 美津子 さん
にしづか みつこ

や
せ
た
人
が
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●事務局

鳥山地域で活動している子ども食堂のひとつで、子どももお母さんお父さんも地域の人も参加できる多世代型の子どもの食堂「ころころ食堂」の代表をしている西塚さんを訪ねました。

西塚さんは16年間「保育ママ」として子どもたちとかかわってききました。保護者が就労や病気等のため家庭で保育できない場合に2〜5人の子どもの自宅を預かり、家庭的な雰囲気の中で保育をするしくみです。この仕事を通じていろいろな親子に出会い、働くお母さんの大変さをひしひしと感じてきました。

堂を立ち上げた栗林知絵子さんのお話を聞き、さらにその思いが強まりました。この学習会には50人以上が集まり、「せつかくの機会、このまま終わるのはもったいない!」と思い、たまらず手を上げて「どなたか一緒にやりませんか」と呼びかけました。その場にいた5人が賛同して、準備を始めることになりました。

やる気はあるものの、はじめはすべてが手探り。場所がなかったのです。西塚さんの自宅の一室を開放することにしました。「人が少なくてもいいから、まずはやってみようと思いました」。保育ママ

「若いお母さんの力になれたらいいな」と考えていた西塚さん。2017年5月、東都生協が主催した学習会に参加し、豊島区の子どもの食

時代の親子に声をかけてPRし、初回にもかかわらず40人近くの親子が集まりました。お母さんたちが子育ての悩みを話したり情報交換しているのを見て、「やつぱりみんなこういう場を求めているんだな、とあらためて感じました」と話します。昨年からは南鳥山ふれあいの家が使えるようになり、現在は月2回木曜日の夜開催しています。高井戸でも土曜の昼に子ども食堂を開き、その評判はクチコミで広がって今では50人を超える親子が訪れています。

「私も周りの人にいろいろなアドバイスをもらったし、せつかく持っているノウハウが次に始める人たちの活動のヒントになれば」と、今では新しく子ども食堂を立ち上げるグループのサポートもしています。介護で休んでいるスタッフにも連絡は欠かしません。「つながりを大事にしたいからね」西塚さんの前向きな行動力がご近所の輪をますます広げています。

■「ころころ食堂☆鳥山」第1・3木曜日 16時〜20時
「ころころ食堂☆高井戸」第4土曜日 12時〜14時
【問合せ】 corocorosyokudou@nifty.com 電話 03-3305-3887

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れています。
詳細は P10 ~ 15 をご覧ください。

梅丘ビューロー はじめカフェ
6/22 (土) 13時半 ~ 15時半
梅丘ボランティアビューロー P 14

236

Be! P 14

生ボランティアフォーラム
6/11 (日) 9時 ~ 17時 (要申込)
和女子大学
生活活動・生涯現役推進課 P 13

JRA 馬事公園

講座

P 13

ボランティア
ビューロー

発達障がいのある方を地域で
サポートするための学習会 @ 玉川
6/21 (金) 13時 ~ 16時半
玉川ボランティアビューロー P 14

●小田急線沿線

- ☆ 成育医療研究センターボランティア募集説明会 詳細 P10
- ☆ 中3女子に勉強を教えて下さる方募集 詳細 P10
- ☆ 外国人のための日本語ボランティア募集 詳細 P10
- ☆ すまいるまつりボランティア募集 詳細 P11
- ☆ 歌集の制作や発信を手伝ってくださる方募集 詳細 P11

せたがやチャイルドライン
第24期受け手養成公開講座
5/31 ~ 7/26 19時 ~ 21時 全9回
会場：世田谷ボランティアセンター P15

福祉有償運送の運転者講習会
6/15 (土) 16日 (日) 10時 ~ 17時
会場：世田谷ボランティアセンター
NPO 法人せたがや移動ケア P 14

ナツボラ 2019 ~ 夏のボランティア体験 ~
7/14 (日)、15 (月・祝) 10時 ~ 申込受付開始
※申込予備日あり 7/20、25、31、8/6
世田谷ボランティアセンター P15

おたが
さいが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

●京王線沿線

- ☆納涼祭（夏祭り）ボランティア募集 詳細 P11
- ☆調理師資格試験の学習サポートをしてくださる方募集 詳細 P11
- ☆コミュニティカフェななつのこボランティア募集 詳細 P12

ナツボラ・ジュニア
～小学生のボランティア体験～
 6/29（土）10時半～受付開始
 梅丘・代田・玉川の各ボランティアビューロー
 P15

もっと語ろう不登校 part2
 6/8（土）14時～
 人の泉・オープンスペース

せたがや学生
 6/30（日）
 会場：昭和三十九
 世田谷区市民

●東急線沿線

- ☆工作・プログラミング・将棋などを楽しんでくれる方 詳細 P11
- ☆バザーボランティア募集 詳細 P11
- ☆清掃・リサイクル活動のお手伝いボランティア募集 詳細 P12
- ☆お弁当の調理・配達ボランティア募集 詳細 P12
- ☆クッキー作りやサンドフラスト体験のお手伝い 詳細 P12
- ☆外国人への日本語学習支援ボランティア募集 詳細 P13

ヒューマンライブラリー入門講座
 6/29（土）13時～15時
 会場：玉川ボランティアビューロー
 東京ヒューマンライブラリー協会

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
 他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさ』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
 ★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動（アクション）の目安には是非ご活用ください。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ボランティア求む

小 成育医療研究センターでのボランティア募集説明会

成育医療研究センターは、主に小児が対象の医療機関です。ボランティアは外来ガイド、休日救急、病棟、シッピング、図書、ショップ、園芸などを行っています。詳細はホームページをご覧ください。説明会に参加希望される方は、電話、FAX、ホームページのフォームからお申し込みください。

小 中学3年生の女の子に勉強を教えてください方募集

豪徳寺に住む、中学3年生の女の子に勉強を教えてください方を募集します。集団での学習が苦手、勉強の仕方に悩んでいるが、高校受験に向けてがんばりたいと思っています。質問することを苦手に感じているので、優しく関わって下さる方を求めています。音楽やおしゃべりが好きな女の子です。詳しくはお問い合わせください。

- 日時／6月18日（火）13時半～16時
- 場所／国立成育医療研究センター内（世田谷区大蔵2-10-1）
- 条件／18歳以上で心身共に健康な方、1年以上以上続けられる方（学生はご遠慮ください）
- 問合せ／国立成育医療研究センター ボランティアの会
TEL 3416・0181
FAX 3416・2222
- 日時／月・水・金曜日（時間は19～21時の間で応相談）
- 場所／自宅
- 交通／豪徳寺駅徒歩5分程度
- 募集人数／1名
- 条件／40代までの女性。交通費支給
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 青木
TEL 5712・5101
aoki@otagaisama.or.jp

小 外国人のための日本語ボランティア募集

日本で暮らす外国人のために、日本語学習のお手伝いをするボランティアを募集します。日本語指導、多文化に興味のある方、人とかかわるのが好きな方、一緒に活動しませんか。詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせはメールでお願いします。

京 納涼祭（夏祭り）ボランティア募集

高齢者施設での納涼祭（夏祭り）の開催にあたり、屋台のお手伝いをしてくださる方を20名募集します。募集人数に達しましたら締め切らせていただきますので、ご了承ください。まずは、お気軽にお問い合わせください。

- 日時／7月27日（土）納涼祭の開催時間は15時～19時。ボランティアの方々には14時から事前説明会を開催します。
- 場所／特別養護老人ホームフォーライフ桃郷（世田谷区北烏山7-8-11）
- 交通／千歳烏山駅徒歩15分。小田急バス「日本女子体育大学前」下車、徒歩5分
- 募集人数／20名
- 条件／高校生以上。お年寄りの笑顔が見たい方歓迎！
- 問合せ／特別養護老人ホームフォーライフ桃郷（こつきょう）担当 橋本
TEL 3300・1600
soudan@jyusinkai.or.jp
http://jyusinkai.or.jp/

- 日時／毎週木曜日14時～15時半
- 場所／代田ボランティアビューロー
- 交通／世田谷代田駅徒歩1分
- 問合せ／JCA千歳船橋 木曜昼教室 担当 上保（うわぼ）
https://ja-chitosefunabashi.jindo.com/

小

すまいるまつりボランティア募集

すまいる梅丘の「すまいるまつり」で、車いすを利用して利用者と一緒に参加して楽しんでいただけるボランティアさんを募集しています。すまいる梅丘内で出店ブースでの販売や、パントマイムなどのパフォーマンスによる楽しい催し物を予定しています。参加できる時間、内容についてはご相談ください。

- 内容／①利用者の車椅子移動介助、②おまつり当日の出店ブース内での補助

*移動介助のお手伝いについては施設にて事前に車椅子の押し方をレクチャーいたします。

●日時／6月7日(金) 10時～14時(集合は9時頃)

●場所／世田谷区立すまいる梅丘(世田谷区梅丘1-36-2)

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分

●募集人数／若干名

●問合せ／すまいる梅丘 担当

面上(めんじょう) 小田切

TEL 3425・5710

京

調理師資格試験の学習サポートをしてくださる方

上北沢に住む30代の女性が10月に行われる調理師資格試験受験のために学習をしています。専門的な言葉の意味がわからなかったり、文章自体はわかっても実際にどういふのかながわからなかったり、苦勞しています。

理解をしやすいうように例えを出したり、詳しく説明してくださる方を探しています。調理師や栄養士など、調理や栄養の知識や経験があったり、料理が好きで詳しい

方であると、とても助けになります。詳しくはお問い合わせください。

●日時／平日(不定期)の10時～12時頃。週2回程度、週1回からでも願います。

●場所／上北沢のご自宅

●条件／できれば女性希望

●問合せ／世田谷ボランティア協会 担当 鈴木

TEL 5712・5101

suzuki@otagaisama.or.jp

小

歌集の制作や発信を手伝ってくださる方募集

短歌・俳句・川柳の作品をつくるという上質な住の男性が、自身の歌集制作とウェブ上の発信を手伝ってくれる方を探しています。

●日時／ご相談のうえ決定

●場所／上野寛周のご自宅

●条件／パソコンやインターネットに詳しい方

●問合せ／梅丘ボランティアビューロー

TEL 3420・2520

活動場所は、ご自宅に伺っての活動

東工作、プログラミング、将棋などを楽しくくれる方募集

玉川地域に住む小学校中学年の男の子が、一緒に工作またはパソコンでのプログラミング、将棋などを一緒に楽しくくれる方を探しています。

●日時／月～金曜日。月2回から。時間は応相談。

●交通／二子玉川駅

●条件／交通費支給。年齢・性別不問。子どもが好きな方

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

一緒に遊んでください。

東 バザーボランティア募集

バザーグループ「てんとうむし」で、提供いただいた品物の仕分けや値付けを行うボランティアを募集しています。年4回のバザーにむけて活動しています。まずは見学からどうぞ。

●日時／毎週火曜日、13時～15時

●場所／世田谷ボランティアセンター

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

mijazaki@otagaisama.or.jp

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

東 清掃・リサイクル活動のお手伝いボランティア募集

知的・身体障害者を持つた方の

作業活動のお手伝いをしてくださる方を募集しています。作業内容は施設の敷地内や近隣の公園のごみ拾い・掃き掃除。ペットボトル、牛乳パックのリサイクルに近隣の公共施設へ行っています。

お手伝いいただきたいことは車いすを利用しての方の車いすを押して歩く、清掃作業をする利用者の方のサポートです。初めての方でも職員がレクチャーをいたし

東 お弁当の調理・配達ボランティア大募集

食事づくりが負担になったご高齢の世帯に、地域のボランティアによる手作りのお弁当をお届けしています。ほっとする家庭の味と、配達時のちょっとした会話でご利用者の見守りも兼ねたこの活動は30年以上続いています。

調理と配達ボランティアを大募集！ 老若男女どなたでも参加できます。週1回からでも大丈夫。一度見学にいらしてみませんか？
●日時／月曜・金曜、週1回でも可。
①【調理】8時～13時半
②【配達】10時半～13時半、15

ます。

●日時／毎週火曜・金曜日、10時40分～11時30分（ご都合の良い日、週1回～月数回でも大丈夫です）

●場所／九品仏生活実習所

●交通／九品仏駅徒歩7分

●募集人数／2～3人

●問合せ／世田谷区立九品仏生活実習所 担当 正岡

TEL 3703・1519

kunhor-shien@spice.ocn.ne.jp

時～16時

●場所／食事サービスサポートセンターだんらん（世田谷区鎌田3・13・1）

●交通／バス「砧南中学校前」下車1分

●条件／①【調理】初心者でも大丈夫です。②【配達】自動車普通免許、人と接するのがお好きな方

●問合せ／老人給食協力会ふきのとう 担当 佐野

TEL 3706・2545
sano@now.jp

東 クッキー作りやサンドブラスト体験のお手伝い

障がいのある利用者さんが通う福祉施設です。毎年、学校の夏休みの期間に施設活動を体験できる教室を開催しており、子どもたちがたくさん参加しています。利用者さんと一緒に、体験のお手伝いをしてくださる方を募集しております。知識や経験はいりません。見学からでも結構ですので、お気軽にお問い合わせください。

●日時／7月19日～8月30日の間10時～15時

●場所／世田谷区立岡本福祉作業ホーム 玉堤分場

●交通／等々力駅

●募集人数／複数名

●条件／特になし。初心者OK

●問合せ／岡本福祉作業ホーム 玉堤分場 担当 細田

TEL 5707・9431

京 「コミュニティカフェなつこの」ボランティア募集

誰でもちょこっと寄れる場所。赤ちゃんからシニアの方、障がいのある方、どなたも集えるまちの居場所。「コミュニティカフェなつこの」でボランティアをしてみませんか。

ライブラリーの整理やおすすめ図書のセレクト、ホール、広場の植栽のお手入れ、イベントのお手伝い等、できることを、楽しみながら参加いただける方を募集しています。特に、ライブラリーの管理に興味のある方、大歓迎です！

●日時／月1回以上

●場所／コミュニティカフェなつこの

つこの（南島山6・12・12コトシャハイム千歳島山12号棟1階）

●交通／千歳島山駅西口（北側）徒歩5分

●募集人数／若干名

●条件／高校生以上（高校生は保護者の承諾が必要）。1回3時間以上の場合交通費支給あり（1回上限1000円まで）

●問合せ／コミュニティカフェなつこの 担当 鎌田

TEL 5069・8457

info@anatsunoko.com

http://www.anatsunoko.com

東 外国人への日本語学習支援ボランティア募集

地域に暮らしている外国人の方々に日本語学習を支援し、更には交流によりお互いの文化や生活への理解を深め、共に学習しあえる場となることを目指しております。

- 日時／毎週水曜日10時～11時半
- 場所／世田谷ボランティアセンター 2階会議室
- 交通／三軒茶屋駅徒歩12分

- 募集人数／2～3名
- 条件／特に資格は問いませんが1年以上在籍可能な方
- 問合せ／JCA千歳船橋 水曜昼クラス 担当 舩山 090・7844・2815
- afunayama7@gmail.com
- https://jca-chitosefunabashi.jindo.com/

講座・その他・募集

東 NPO・市民活動相談 ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。グループの運営に悩んでいる、助成金情報を知りたい、NPOって何？ など、いろいろなか相談を受けています。すでに活動して

- いる方も、これから何か始めたい方も、個人・団体問わず相談可能です。まずは電話でお問合せください。（相談無料、事前予約制）
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎 TEL 5712・5101（月曜・祝日休館）

東 セタがや学生ボランティアフォーラム参加者募集

このフォーラムは、ボランティアを志す学生が「つどい、つくり、つながり」集いです。学生企画によるシンポジウムや分科会、交流の広場・アクションマーケットを通して、学生同士がボランティアでつながり、出会いの絆を結びあいます。ボランティアって何？ どうすればアクションを起こせる？ もっと意味ある活動をなど、楽しく交流し話しあいましょう。

- 日時／6月30日（日）9時～17時（要事前申込）

東 ヒューマンライブラリー入門講座

ヒューマンライブラリーは、障がい者、LGBT、難病、依存症、難民など偏見や誤解を受けやすい人が「本」になり、少人数の一般読者に人生活を自己開示するイベントです。相互理解を深め偏見を低減するイベントとして世界中で実践されています。詳しく知りたい方、開催してみたい方、本をしてみたい方などを対象に入門講座を開催します。

- 場所／昭和女子大学 対象／高校生、大学生、専門学校生
- 募集人数／300名（先着順）
- 申込み／世田谷区のホームページから。または郵送、FAXで。
- ＊分科会の内容など詳しくはホームページをご覧ください。
- 申込み締切／6月9日まで
- 問合せ／世田谷区市民活動・生涯現役推進課

- TEL 5432・2234
- FAX 5432・3005
- 日時／6月29日（土）13時～15時（事前予約制）
- 場所／玉川ボランティアビューロー会議室
- 交通／二子玉川駅徒歩5分
- 参加費／500円
- 申込み／氏名・所属・住所を明記してメールで申込みください。
- 問合せ／東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井 090・4751・6942
- tsubo12@gmail.com

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。7月号掲載は6月10日（月）に締め切ります。

講座・その他・募集

東

発達障がいのある方を地域でサポートするための学習会◎玉川

「発達障害」という言葉は知っていても、よくわからないとの声をききます。わかりやすく説明をしてもらうと、そうだったのか！と納得できるのではないのでしょうか。学んだこと感じたことを発信して、身近な地域をみんながいきいきと暮らす、さらに素敵になりにしていきましょう！

●日時／6月21日（金） 13時～16時半

●場所／玉川ボランティアビュー

小

「もっと語ろう不登校 part 2019」

これまで2年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

ロー

- 内容／講義と交流
- 対象／区内在住・在学・在勤の方
- 参加費／500円（資料代）
- 定員／30人（先着順）
- 申込み／電話、FAX、メール（件名「発達学習会申込み」にて受付）

TEL 3707・3528
FAX 3708・3058
tamabara@otagaisama.or.jp

- 日時／6月8日（土） 14時～
- 場所／人の泉・オーブンスペース Be!（赤堤1-15-13）
- 参加費／300円（カンパ歓迎）
- 交通／山下駅徒歩6分
- 問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 佐藤

TEL 5300・5581

小

梅丘ビューロー はじめカフェ

ボランティアや地域活動って、敷居が高いと思っていませんか？「どんなことから始めたいの？」「どんな人がボランティアをやっているの？」「難しくないの？」など、様々な疑問を他の参加者と一緒に紐解きながら、ご自分に合った活動をみつつけ、ボランティアをはじめてみませんか？

●日時／6月22日（土） 13時半～15時半

東

福祉有償運送の運転者講習会

福祉車両への移乗や、車椅子の方を乗せての運転実習等、座学に実習を交えた実践的な講習です（国土交通省認定講習）。送迎を行うヘルパーや施設送迎の運転者にも本講習の受講が推奨されています。

受講者には運転者が必要とする区内のNPO団体もご紹介いたします。有償のボランティア活動のための講習会ですので、受講後は認定証も発行されます。車と人が好きな方の、無理のない余暇活動とつなごうとします。

- 場所／梅丘ボランティアビューロー（世田谷区梅丘1-8-9）
- 対象／ボランティア・地域活動に興味関心のある方。どなたでもご参加できます。
- 定員／15人
- 参加費／400円（資料代・茶菓代含みます）

●申込み・問合せ／梅丘ボランティアビューロー 担当 赤松
TEL 3420・2520
uneborara@otagaisama.or.jp

- 日時／6月15日（土）、16日（日） 10時～17時。2日間の講習です。両日ともご参加ください。
- 場所／世田谷ボランティアセンター
- 交通／三軒茶屋駅から徒歩12分
- 受講料／区内の方6500円、区外の方1万円（テキスト代含む）
- 申込み・問合せ／NPO法人せたがや移動ケア 担当 鬼塚

TEL 5316・6621
info@setagaya-idoor.jp
http://www.setagaya-idoor.jp

東

せたがやチャイルドライン公開講座

この講座は「せたがやチャイルドライン」第24期受け手養成講座の一部ですが、公開講座としてどなたでもご参加いただけます。

5月31日から開講しています
が、関心のある回のみの参加もできますので、ぜひご参加ください。

●日時・内容・講師／原則として、毎週金曜日、19時～21時（6月26日、7月6日は記載のとおり）

①6月7日（金）講義「ボランティアを支えるせたがやチャイルドライン」田野浩美（せたがやチャイルドライン運営委員長）ほか

②6月14日（金）講義「思春期の性・男子の性・性的なこと、話せますか？」村瀬幸浩（人間と性・教育研究協議会幹事）

③6月21日（金）講義「遊びのチカラ・子どもの今」天野秀明（NPO法人フレバーキセタがや理事）

④6月26日（水）講義「手にいれない“まなざし”～子どもの権利条約の具現化を目指して～」西野博之（NPO法人フリースペースたまりは理事長）

⑤7月6日（土）15時～17時

講義「子どもが置かれている現状と関係機関の役割」岡野安成（世田谷児童相談所所長）

⑥7月12日（金）ワーク「子どものことばに、ふれてみる」田野浩美（せたがやチャイルドライン運営委員長）

⑦7月19日（金）講義「いじめと不登校／経験者の立場から」須永祐慈（「ストップいじめ！ナビ」副代表理事）

⑧7月26日（金）ワーク「より良いコミュニケーションをめざして」コミュニケーションの体験山本多賀子（せたがやチャイルドライン運営委員）

●場所／世田谷ボランティアセンター

●参加費／1講座2000円

●申込み／メールまたはFAX

●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局

TEL 5712・5101

FAX 3410・3811

childline@otagaisama.or.jp

夏のボランティア体験「ナツボラ2019」

小学生向けの夏休みボランティア1日体験プログラムです。体験を通じて支えあいの心や、生きる力が育まれることをめざしています。ぜひご参加ください。

●対象／区内在住・在学の小学生とその保護者

●申込み／6月29日（土）10時半～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

夏のボランティア体験「ナツボラ2019」

夏のボランティア体験プログラム「ナツボラ2019」は、初めてのボランティアを応援します。詳しくはホームページをご覧ください。

●対象／区内在住・在学・在勤の中学生・30歳くらいまでの方

●申込受付日／7月14日（日）、15日（月・祝）10時～12時半

必ず本人が来所、代理申込み不可。先着順。

●申込予備日／7月20日（土）、25日（木）、31日（水）、8月6日（火）12時半～13時半（要予約）

●オンラインセッション／申込日同日の13時半～15時45分

10時～16時半

●参加費／1名500円（別途ボランティア保険代300円）

●体験期間／7月20日（土）～8月31日（土）

●受付・問合せ／各ボランティアビューローへ（月曜・祝日休館）

TELは16ページののとおり
<https://www.otagaisama.or.jp>

●受付会場／世田谷ボランティアセンター 2階

●参加費／1200円（別途ボランティア保険代300円）

●体験期間／7月23日（火）～8月31日（土）の間で3日程度

●体験内容／保育園、フリースクール、高齢者施設、障がい者施設、NPO・NGO団体など

※活動プログラムは6月中旬からホームページにて公開予定

●問合せ／世田谷ボランティアセンター

TEL 5712・5101

<https://www.otagaisama.or.jp>

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

ナツボラ(学生向けのボランティア体験プログラム)やナツボラジュニアの準備に取り組んでいます。初めてのボランティア体験、良い出会いを提供できるよう工夫してきたいと思います。

◆ふらっと&withより

これからは雨のシーズン到来。ゆったりとしたひとときを皆さんと一緒に考えたいと思います。移りゆく季節の花を楽しみながら一緒に外出してくれるボランティアさんも、大募集中です!

◆結・連より

介助を必要としている人がいます!世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

5/31(金)から受け手養成公開講座が始まりました。受け手を目指す方はもちろん、子育て中の方や子どもの問題に関心がある方にもご参加いただきたい内容です。単発でも参加していただけます。

編集後記

- 先月、烏山もったいないバザーを開催しました。実は、「ころころ食堂」の西塚さんとの出会いは1年前の烏山バザーでした。お客さんとして声をかけてくれてから1年、今年は地域の団体としてご一緒することができました。
- 早くも大雨が各地を襲った5月でした。昨年の夏のような被害をもたらず豪雨にならないことを願うばかりです。
- 身のまわりで「片づけプロジェクト」が進行中です。まだまだ取り組みがいがあります。(み)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

